

正智深谷高等学校特別コラム

# Mind Charging

Since 2020

第384回

鳥羽博道

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和6年4月15日

編集委員：入試広報室 鈴木



## 今回の言葉

忘れてならないのは、ヨットは向かい風  
でも前に走るということである。

鳥羽 博道は、日本の実業家。株式会社ドトールコーヒー創業者・名誉会長。有限会社ドトールコーヒー代表取締役社長、東京マグナ株式会社代表取締役社長、株式会社マドレーヌコンフェクショナリー代表取締役社長などを歴任した。

## Column

鳥羽博道さんは深谷市出身の実業家で、みなさんご存知の『ドトールコーヒー』の創業者としても有名な人物です。今回の言葉のあとには『風を読み、何枚かの帆を巧みに調節することによって、どんな向かい風の中でも前に進むことができるのだ』と続いていました。

もしかしたらこれまでの人生の中で一番多く発した言葉は『頑張る』かもしれません。なぜなら頑張るべきタイミングというものがそれだけ日常の中で溢れていますし、常に頑張ることで人生（生活）は進んでいくものだからです。しかし、みなさんも“わかる！”と言ってもらえると思いますが、頑張ることの大切さや頑張りたい気持ちはあるものの、いざそのタイミングに遭遇すると『頑張るのはいいけど〇〇があるから多分成果が出ないから頑張っても意味ない』と頑張らずに済む方法（言い訳）が思い浮かんでしまうことがあると思います。なぜ挑戦する前からネガティブな結果を予想してしまうのでしょうか。私は頑張ることの大変さから逃げたい気持ちと頑張ってもダメだった時のショックを思うからだと考えます。

誰でも苦難から自分を守りたいものです。『自分が一番かわいい』なんて言い方もしますよね。そんな、いわゆる“愛情”の形はひとつではありません。私も数え切れないほど経験がありますが、みなさんご家族や先生に叱られたことがあると思います。自分が悪いと理解していても“言い方があるでしょ…”と素直に聞けないこともあるのではないのでしょうか。時々『叱ると怒るの違い』という話を聞きますが、叱ってくれる人の気持ちとしては、みなさんの中にある“可能性”をみなさんより先に見つけているからであり、それは自分自身が自覚する必要があるので『早く気づいて！』とヒントを出しているのだと思います。これは私も指導する側になってから理解できたことであり、今のみなさんにはストレス（向かい風）の方が大きいかもしれませんが“自分に助言をする人は自分の可能性に期待してくれている”と思って聞いてみてください。そうすることで助言してくれる人の思いが今まで以上に伝わると思います。そして、正しく自分にプラスになるように受け止められると思います。『思い』を持って目の前の課題を楽しみながらクリアしていきましょう！